

大村競走場競走水面掃海計画

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	祝	祝
本場開催日程			中止 順延	途中 中止	中止 打切						前検							後検		前検					後検	前検				
掃海作業実施日																														
(うちハーベスタ稼働日)				○	○	○	○	○	○	○																				
水路担当掃海作業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
漁協通常掃海作業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○			○	○	○	○
漁協開催応援掃海作業(6名)											○	○	○	○	○	○														
漁協応援掃海作業(20名)				○	○	○	○	○	○	○																				
漁協潜水夫作業(6名)								○	○	○																				
民間潜水夫作業(23名)								○	○	○																				
開催後掃海作業				○								○	○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○
長崎県水産試験場協議										○																				

- 海藻大量発生原因
- ・4月3日の荒天により競走水面内に湾内からの海水が流入し、閉鎖水域ではあるが酸素供給が行われた。
 - ・併せて、同3日、4日の晴天が競走水面内アマモの生育に好条件となり、急速に成長した。
 - ・4月4日は大潮であり、後半レース開催が干潮時刻と重なったことも要因の1つと考えられる。

- 4日中止決定経過
- ・9R3号艇がLとなり、返還欠場。10R展示後、2マークまわりを中心に掃海作業実施。
 - ・10R2号艇・4号艇がLとなり、返還欠場。11R展示後、再度掃海作業を実施するも干潮時刻となり水面状況の回復が見込めないため、11R締切前に中止を決定。

- 5日中止打切決定経過
- ・4日中止決定後日没まで、翌5日早朝から掃海作業を実施したが、アマモの生育に掃海作業が追いつかず、水面状況が依然深刻であると判断し、開門前に中止打切りを決定。

- 掃海作業
- ・大村湾東部漁業協同組合の協力を得て、4月10日までの集中掃海作業を実施する。
- 実施行程は、ハーベスタ(海藻刈り取り船)と漁協船舶によるアマモの刈り取り。及び、漂流物の回収。
- 実施時間は、干潮時に併せ日に2回集中的に行うものとする。
- なお、当該掃海作業には、当市企業局職員及び整備業務委託業者と合同で実施するものとする。
- 8日～10日 漁協及び民間ダイバー各日約30名による潜水掃海作業を実施する。
- 10日 長崎県水産試験場担当者と協議し、効率的な掃海作業及び今後の対応を協議する。
- 周年競走開催期間中は、レース終了後から日没まで掃海作業を実施し、翌日の開催に万全を期する。

- 選手走行確認
- ・8日、10日長崎支部選手の協力を得て、レースへの支障等がないか航走確認を実施
- 水面状況の監視
- ・今後は潮位、潮流、海藻生育状況の把握を徹底し、掃海作業の要否を早朝に決定し実施する。